

## 訪問介護員 3 級講習 講義

ホームヘルプサービスに関する知識と方法

・・・介護概論・・・

様式1

### 3 級ホームヘルパー講習

6

介護サービス

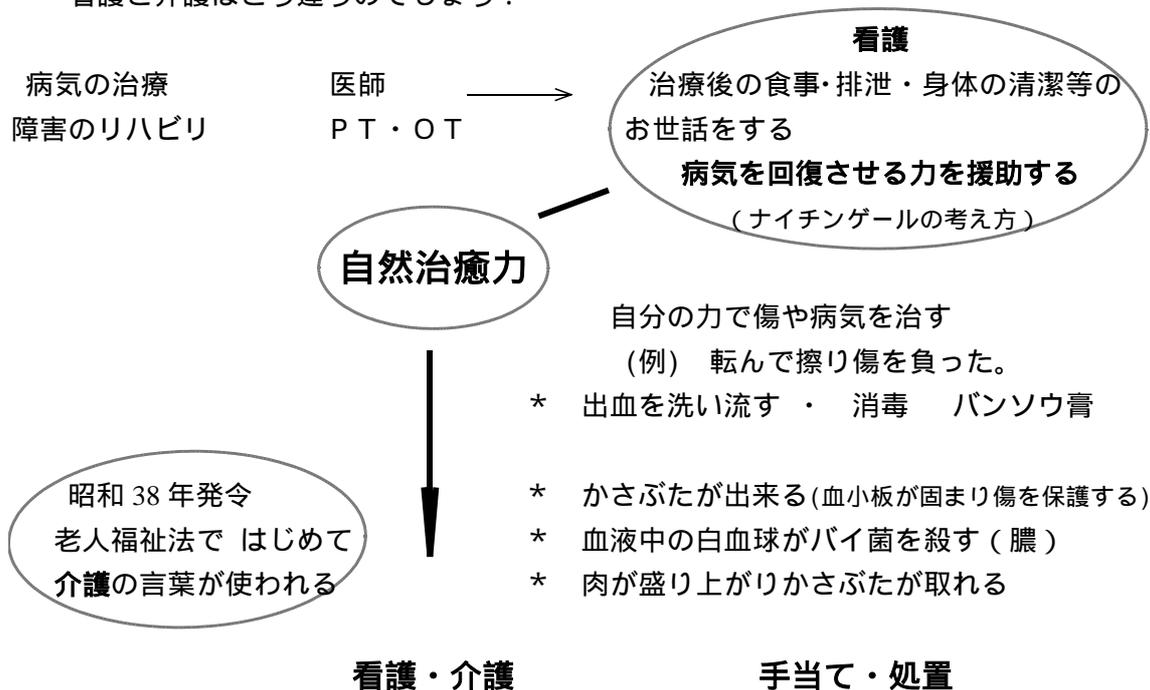
実施期間 平成 年 月 日( )から  
平成 年 月 日( )まで

氏名 \_\_\_\_\_

項目種別	G2 介護サービスに関する知識	課題名	介護概論
	時間数(時限)	3	
担当指導員		講師名	先生
<p>訓練内容</p> <p>介護とはどんなことか？全般的なことについて学びます。                  介護の目的は何かを考えます。                  介護される人がどんなことをしてほしいと思っているか考えましょう。                  リハビリテーションとはどんなことか考えてみましょう。                  福祉のための用具の種類と使い方を学びます。                  介護の仕事をする人の健康管理について学びます。</p>			
<p>訓練目標</p>          			
<p>準備するもの</p>          			
<p>訓練後の感想</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>			
<p>指導員の感想・評価</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>			

< 講義内容 要旨 >

\* 看護と介護はどう違うのでしょうか？



介護の場面を考えましょう

朝	トイレに行く	歯磨き
	洗 顔	化粧
	着替え	整髪
	布団たたみ	ベッドから起こす
	食事	雨戸・カーテンを開ける

介護ロールプレイ(食事介助)

【設定】

うめさん 70 歳 脳卒中 左麻痺 外出は車椅子 いつも嫁と買い物に行く  
 家族は 嫁(50 歳)孫の用事で外出のため 20:00 に帰宅 (2 時間の介護)  
 ヘルパーへの依頼・・・夕食を作って食事介助  
 買い物同行 楽しみでもある  
 夕食づくり 献立も考え、材料の確認  
 (脂っこいものは避ける)  
 歯が弱っていて 硬いものはだめ

【演技のポイント】

呼ぶ時は お名前呼びます。スキンシップも忘れずに。  
 声かけのときは、同じ目線になるような姿勢をとります。  
 表情や言葉を見逃さない、聞き逃さない。(観察力)

## 【導入】

- \* 玄関で声をかけ、**断ってから上がる**(勝手に上がらない)。
- \* **目線を合わせて挨拶**。さりげなく**健康状態を観察**する(手を握るなどスキンシップでさりげなく体調を見る)。**脱水症状・便秘などが無い**か？  
相手のペース・反応を見ながら、自然な会話に持っていく。
- \* いきなり近づき過ぎない。**相手との距離**が大切。話す時の位置取りも真正面よりは横向きに並ぶ。
- \* 子ども扱いしない。おばあちゃんとは呼ばない。

## 【献立を考える】

- \* 好みを聞く 「マグロのお刺身。特にトロが食べたい！」
- \* 油脂類をあまり取ってはいけないこと、歯が弱いことを考慮して、赤味とトロを半々にしたネギトロ丼にする。
- \* 他に食べたいものを聴く。メニューのバランスを考える。  
「おみそ汁が飲みたい。あと野菜の煮物。」
- \* 材料を確認(冷蔵庫などを開けるのは断ってから)する。勝手に処理しない。  
無駄なものは買わない。お金はきちんと確認する。

## 【買い物に行く】

- \* 買い物に行くことを告げ、車イスなら外出できるので一緒に行くか聴く。  
もし一緒に行くことになった場合
- \* 寝巻き(部屋着)だったら着替え、整容する。 **自分で出来ることはしてもらう**。
- \* 車イスに乗せ、買い物に行く。 料理・買い物が楽しみ  
・・・ タイムオーバー ・・・

## 【食事介助】

- \* 食事を作る。出来れば一緒に行くことも良い(味付けなども相談して)
- \* 食事する
- \* 後片付けをする。ごみの処理なども勝手にしない。(収集日などの把握)  
家事援助の中にも身体介護が入ってくる。

## 【介護上の大切なポイント】

相手の気持ちを良く知ることが80% 技術は20%

相手の考え方に合った介護をする(生活観・人生観を大事に)

出来ることは自分で、出来ないことを手助けし、出来ることを増やしていく。

安全に、安心して受けられる介護をする。緊急時の連絡と相談も大切。

